



消防団の組織概要

令和4年4月1日現在

| | | | | | |
|---------|-----------------|----------|--|-----|--------------|
| 都道府県名 | 北海道 | 所在地 | 〒078-4421 | | |
| 市町村名 | 初山別村 | | 北海道苫前郡初山別村字初山別103番地1 | | |
| 消防団事務所管 | 北留萌消防組合消防署初山別支署 | 電話番号(直通) | 0164-67-2236 | FAX | 0164-67-2680 |
| 消防団名 | 初山別村消防団 | メールアドレス | syosanbetsu-fd119@atlas.plala.or.jp | | |

| | | | | | |
|----------|-----------------------|----|--------|-------------|---|
| 組織 | 分団数 | 3 | 分団 | ホームページURL | |
| | うち機能別分団数 | 0 | 分団 | SNSアカウント | |
| | 方面隊数 | 0 | 隊 | | |
| | 部数 | 8 | 部 | 消防団活動事例・PR等 | 初山別村消防団は初山別、豊岬、有明の3つの分団で組織され、初山別村の各地区に配備されています。消防団の主な活動は、1月の出初式を始め、3月は隔年ごとに総合訓練と救命講習を行い、各分団毎に隊の連携強化や、団員の士気の高揚を図る目的として実施されます。6月と10月は初山別村消防演習が実施され、火災防ぎょ訓練や訓練礼式、小型ポンプ操法を行います。また、北海道消防学校で行われる、北海道消防操法訓練大会 小型ポンプ操法の部で優勝経験があり、厳正な規律や消防技術の取得を図るなど、団員の知識や技術の向上に努めています。火災予防運動期間には、消防車両が隊列を組んで防火パレードの実施や、一般家庭への防火訪問及び防火チラシの配布、歳末特別警戒による啓蒙宣伝を行い火災予防思想の一層の普及を図り、火災の発生を未然に防止することを目的とし住民の方々の住宅防火の意識を高めてもらうよう火災予防啓発活動をしています。ここ数年間は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、消防団活動の縮小を余儀なくされておりますが、当消防団は、各分団毎に取り組み方を変えて放水訓練を実施するなど感染対策を取り、工夫しながら地域住民の安心安全を確保するために日々活動しています。 |
| | 班数 | 0 | 班 | | |
| 団員数 | 条例定数 | 60 | 人 | | |
| | 実員数 | 59 | 人 | | |
| | 男性団員数 | 59 | 人 | | |
| | 女性団員数 | 0 | 人 | | |
| | 基本団員数 | 59 | 人 | | |
| | 大規模災害団員数 | 0 | 人 | | |
| | その他の機能別団員数 | 0 | 人 | | |
| 職業構成別団員数 | 国家公務員 | 0 | 人 | | |
| | 地方公務員 | 8 | 人 | | |
| | 都道府県職員 | 0 | 人 | | |
| | 市区町村等職員 | 8 | 人 | | |
| | 特殊法人等公務員に準ずる職員 | 6 | 人 | | |
| | 農協職員 | 1 | 人 | | |
| | 日本郵政グループ | 1 | 人 | | |
| その他 | 44 | 人 | | | |
| ポンプ | 普通消防ポンプ自動車 | 0 | 台 | | |
| | 水槽付消防ポンプ自動車 | 1 | 台 | | |
| | 小型動力ポンプ付積載車 | 3 | 台 | | |
| | 小型動力ポンプ(車両に積載していないもの) | 0 | 台 | | |
| | 手引き動力ポンプ | 0 | 台 | | |
| 年額報酬 | 報酬額(階級:団員) | 年額 | 36,500 | 円 | |
| | (参考)交付税単価(階級:団員) | 年額 | 36,500 | 円 | |
| 出動報酬 | 火災 | ☆ | 円 | | |
| | 風水害等の災害 | ☆ | 円 | | |

※1:「消防団の組織概要等の調査」による

※2:出動報酬について、一日あたりの報酬の額を定めている場合はその額を記載している。

もともと、報酬の額は、出動区分(火災、風水害、警戒、訓練等)や支給単位(出動1日あたり、〇時間あたりなど)が市町村等によって異なることから、年額で〇円や一定時間以上で〇円等の定め方をしている場合は「☆」、災害出動に関する報酬の額について定めがない場合は「-」と記載。

※3:詳しくは、各市町村等のホームページ等を参照。